

条例第18条の2第2項に規定する自主規制団体からの聴き取り結果

(令和4年7月6日実施)

	図 書 名 等	聴 き 取 り 内 容
1	<p>gateau comics ちょっと聞いてよおにいさん 令和4年6月20日発行</p>	<p>性器の修整は一部淡くトーンがかかっているが、比較的しっかりしている。ただ、局部が具体的で、強調されている部分が散見される。また、様々な器具が使われており、男性器の器具は非常にリアルに描かれており、尿道にさすものは危険を感じる。性描写が多く、指定該当。</p> <p>相思相愛のBLコミック。後半部分にSMプレイがあるが、強制感はない。ただ、男性器の形状の分かる消しの甘さと登場回数が気になる。さらに描き下ろしの男性器の玩具がリアルすぎるのに消しがなく、最後の玩具は特に青年レベルを超えている。指定該当やむなし。</p> <p>全体的に性交シーンが多く、性器ははっきりとは描かれていないものの、うっすら陰影で形状が分かる箇所が散見される。後半のSM的な描写、展開は、人格否定と言えるほどではないが、前述の理由により指定該当やむなし。</p> <p>体液、擬音、性器の描写が多く、拘束具や器具による性的類似行為の描写も複数回ある。卑わいな感じを与える。指定該当やむなし。</p> <p>セックス描写が多くしかもページ数が長い。拘束あり、器具あり、擬音、体液描写も激しい。暴力的・強制的な描写もあり人格否定である。男性器は白抜きで修整されているが大きく誇張されている。指定該当。</p> <p>性器の描写で一部スクリーントーンで処理している部分は若干形状がはっきりとしているところもあるが、概ね白抜き等で修整されており配慮を感じる。人格を否定する性的行為を容易に連想させるものとも言えず、指定非該当。</p> <p>性描写は多めであるが、男女間のカップルでも二人の結びつきを物語性に裏打ちされながら、身体につながりが描かれることは多々あり、本作品も常軌を逸してはいないように思う。性描写を過剰に、扇情的に描いていることもない。修整もほどこされており配慮はある。人格否定もない。中盤の道具の使用については表現の工夫の余地はあるかもしれないが、指定非該当。</p> <p>性描写が多く、拘束や器具の使用もあるが、コミカルなシーンもあり、人格否定は感じられない。修整も配慮が見られる。指定非該当。</p> <p>コミカルに描かれている箇所が多く、卑わい感がなく、人格否定なども感じられない。性器の修整もされており、指定非該当。</p> <p>ストーリーに強制的、暴力的、人格否定的な描写もなく、帯にSMショーとうたっているもののソフトなイメージ。性器も白抜きで描かれており、配慮は感じられる。全体的に性描写が多いので悩ましいところではあるが、ストーリーはソフトでコミカルな印象も受けるので指定非該当。</p>